

受講者氏名： _____ 整理番号： 22 実 _____

施設・事業所名： _____ 職名： _____

I. 「認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援」自己課題の設定
 これまでの自分自身のケアを振り返ってみましょう。

I は認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援の科目で記入します。



認知症介護実践者研修での自分自身の課題を考えてみましょう。

II. 前期研修の科目のレビューと学習成果の実践展開

1. 「生活支援のためのケアの演習1」のレビューと実践展開の記録・感想

| 「生活支援のためのケアの演習1」を受講して 学んだこと・実践してみたいこと | 学んだことを活かして実践した場面・ 実践した感想 |
|--|---|
| 「生活支援のためのケアの演習1」で学んだことと認知症の人とコミュニケーションを行う上で実践してみたいことを書いてみましょう。 | A に記入した「実践してみたいこと」を職場で実践した場面を思い出して、自分や相手の言葉、表情、反応等コミュニケーションの内容を書いてみましょう。 また、実践した感想を書いてみましょう。 |
| A | B |

A 欄は授業後に記入し、
 B 欄は職場に戻っているときに記入します。

鉛筆のみ可。濃くはっきり記入する。

受講者氏名： _____
 整理番号： 22 実 - _____

A 欄は授業後に記入し、
 B 欄は職場に戻っているときに記入します。

2. 科目ごとのレビューと実践展開の記録・感想

| 科目名 | 受講して学んだこと ・実践してみたいこと | 学んだことを活かして 実践した場面・実践した感想 |
|------------------|-------------------------|---------------------------------|
| | | 科目ごとに、学んだことと実践してみたいことを書いてみましょう。 |
| QOL を高める活動と評価の観点 | A | B |
| 家族介護者の理解と支援方法 | A | B |

鉛筆のみ可。濃くはっきり記入する。

受講者氏名：

整理番号： 22 実 -

| | | |
|------------------------|---|---|
| 権利擁護の 視点に基づく 支援 | A | B |
| 地域資源の 理解とケア への活用 | A | B |



職場実習で取り組むことが難しいものは、欄外に記録しておき、修了後に取り組んでみましょう。

3. 職場実習で取り組みたい事例

職場実習で取り組んでみたい事例を2つ挙げてみましょう。

● _____

→取り組んでみたい理由： _____

● _____

→取り組んでみたい理由： _____

鉛筆のみ可。濃くはっきり記入する。

受講者氏名： _____

整理番号： 22 実 - _____

Ⅲは学習成果の実践展開と共有の科目で記入します。

Ⅲ. 後期研修「学習成果の実践展開と共有」

1. 記録と感想を書いてみて、今改めて気付いたことや疑問点

他の受講生と共有前に、再構築して気付いたことを記入しましょう。

| |
|--|
| |
|--|

2. 印象に残った他の受講生の発言と気付いたこと

| |
|--|
| |
|--|

鉛筆のみ可。濃くはっきり記入する。